

9月は認知症月間です

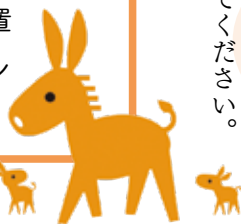
「住み慣れた地域で、自分らしく暮らす」

毎年9月は「認知症月間」、21日は世界アルツハイマーデーです。世界中でアルツハイマー病などの認知症に関する普及・啓発活動が行われています。

市では、企業やボランティア、介護保険事業所、地域包括支援センターと協力しながら認知症に関するさまざまな取り組みを行っています。認知症のシンボルカラーは「オレンジ」、認知症サポーターキャラバンのマスコットは「ロバ隊長」です。お住まいの地域で探してみてください。

～ぜひお立ち寄りください～

- 9月20日(金)～23日(月・振休)
日清・プラザイトーヨーカドー三島店にて
普及啓発イベント
- 8月31日(土)～9月26日(木)
市立図書館本館に特設コーナー設置
- 9月9日(月)～24日(火)
市役所玄関ロビーに展示コーナーを設置
- 街中ほっとサロンや各地域包括支援センターをオレンジ色にドレスアップ



市役所玄関ロビー展示



昨年の様子

問 長寿政策課 ☎ 983・2689

知る

認知症講演会 (無料)

だれもが認知症になるといわれる時代、早く気づき、早く対応することが大切です。認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生きていくために、認知症の人やご家族のお話をヒントに認知症について考えてみませんか？

※WEB視聴も可能です(アーカイブ配信は行いません)

※会場定員 150人



◀ WEB 視聴事前登録はこちら

開催日

9/21 (土)

時間 午後 2 時 30 分～4 時 (開場：午後 2 時)

会場 生涯学習センター 3 階 講義室

申込方法

9月18日(水)までに電子申請または電話で長寿政策課 ☎ 983・2689



◀ 電子申請はこちら

【第1部】

講師：認知症当事者・家族・介護者

認知症とともに自分らしく生きる・認知症に気づききっかけ

【第2部】

講師：池田裕介さん (芝本町クリニック院長)

認知症とどう暮らそう？

認知症サポーター養成講座

認知症のことを正しく理解した人が増え、ちょっとした手助け・気配りが広がることで、認知症の人の生活の支えになるだけでなく、その人の「やりたいこと」「続けたいこと」を支える力になります。あなたも応援者の一人になりませんか？

対象 市内在住または在勤の人

持ち物 筆記用具

申込方法

開催 5 日前までに長寿政策課 ☎ 983・2689

【日程】 ※いずれも90分間の講義の後、相談会の時間を設けます

	開催日	時間	会場	定員
①	10月4日(金)	午後 1 時 30 分～3 時 30 分	錦田公民館 講堂	30 人程度 ※応募多数時抽選
②	10月11日(金)		中郷文化プラザ 展示コーナー	
③	10月24日(木)	午前 9 時 30 分～11 時 30 分	北上文化プラザ 研修室 3	
④	10月30日(水)		三島市社会福祉会館 大会議室	

相談

する

もの忘れ相談 (無料)

対象 もの忘れを心配している本人または家族

内容 認知症地域支援推進員などによる相談

場所 長寿政策課

※開催日は広報みしま「保健カレンダー」でお知らせしています。(要事前予約)

地域包括支援センター ※市内全5カ所

地域包括支援センターには、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師・看護師が常駐しています。生活などで不安を感じたら、お住まいの地区の地域包括支援センターへお気軽にご相談ください。

家庭の地震対策



今年1月1日に発生した能登半島地震は北陸各地に甚大な被害をもたらしました。また、8月8日には「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、その後、15日に注意の呼びかけは終了となりましたが、南海トラフ地震発生への恐れがなくなったわけではありません。日ごろからの地震への備えを再確認し、いざという時のために家庭での防災対策をお願いします。

南海

トラフ巨大地震発生確率

政府の地震調査委員会は、南海トラフで発生するマグニチュード8～9クラスの地震が30年以内に起こる確率を70～80%程度と発表しています。

三島市で想定される最大の

被害

(元禄型関東地震の被害想定)

最大震度

6強

死者数

約 20人

建物全壊・焼失

2,700棟

建物半壊

5,200棟

家庭の防災対策

ハザードマップで危険度を確認

「三島市WEB版ハザードマップ」で自宅や勤務先などの揺れやすさや液状化などの危険度を確認しましょう。
※WEB版リンクは左上

水、食料、生活用品の備蓄

飲料水は、大人1人1日3ℓを目安に準備しましょう。飲料水・食料は、7日分をローリングストック法を活用しながら備蓄しましょう。

【ローリングストック法】

普段、家で食べている缶詰・ラーメン・ドライフードなど賞味期限が6カ月以上の食品を多めに買い、食べたら買い足し備蓄します。いつも食べているものを災害時にも食べられます。

トイレ対策

見落としがちなトイレ対策ですが、能登半島地震でも、断水などにより水が流せず、トイレが不衛生な状態になってしまった場所もありました。自宅が無事であれば、自宅での生活ができるように、携帯トイレなどを備蓄しておきましょう。発災直後から1週間程度は、自分たちで乗り切るための備えが重要です。

災害時の
トイレ対策
(動画解説)



10/6
(日)

総合防災訓練に参加しましょう！(南二日町広場)

- ▶消防や自衛隊による救出訓練 ▶建設団体やライフライン事業者による道路・水道・ガス・電力復旧訓練
- ▶災害対策車両の展示、防災関係団体によるブース出展 ▶スタンプラリーによる備蓄食料などの配布

午前9時～
11時30分

住宅の耐震化

※各事業は事前に申込みが必要です

わが家の専門家診断事業

無料で専門家を派遣し、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断などを行います。
●電話・窓口・電子申請で住宅政策課

今年度
終了

木造住宅耐震補強助成事業

(補強計画一体型)

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の補強計画の策定および耐震補強工事に要する経費の一部を補助します。

令和
7年度
終了

木造住宅耐震補強助成事業

(除却)

昭和56年5月31日以前に建築され、耐震性のない木造住宅の除却工事に要する経費の一部を補助します。

令和
7年度
終了

●補助限度額 30万円

ブロック塀等耐震改修促進事業

地震で倒壊の危険性があるブロック塀を除却または作り替える(建替費用の一部を補助します)。
●補助率 経費もしくは基準額の3分の2以内

詳細は
各事業の
申込み
から
各
細
こ



住宅の耐震化に関する問合せは
住宅政策課 ☎983・2644